

令和7年度 文部科学省委託事業 いじめ対策・不登校支援推進事業  
いじめ・不登校等の未然防止等に向けた魅力ある学校づくりに関する調査研究

# 「心理分野に強みや専門性を有する教師の 育成のための教職員向け研修プログラム」

## 第10章 個別面談

慶應義塾大学・准教授

金子 恵美子

文教大学・教授

会沢 信彦

※所属は2026年3月時点のものです

# 1. 個別面談の意義

## (1) 個別面談の目的

- ・ 児童生徒の抱える問題や課題について指導する
- ・ 児童生徒をよりよく理解するための情報を得て、今後の対応を検討する（アセスメント）
- ・ 児童生徒が抱えている気持ちを聴き、不安や混乱を軽減する
- ・ 児童生徒が抱えている問題や課題を解決するために相談する（情報提供なども含む）
- ・ 児童生徒の成長、変容を支援する

# (1) 個別面談の目的

① 「指導」と「支援」について

② アセスメントとしての意義

- ・ BPSモデルに基づくアセスメント
- ・ 客観的、共感的に理解する姿勢
- ・ アセスメント結果の共有
- ・ 専門機関等につなぐことの検討

## (2) 個別面談の種類による

目的、留意点の違い

- ①対象が児童生徒全員であるか、  
特定の児童生徒であるか
- ②面談の始まりが教師からの呼びかけや  
気づきによるのか、児童生徒からの希望か

(3) 学校という場、教師であることを  
生かした個別面談

- ①個別支援と集団支援の両方が行える
- ②面談の機会が多くある
- ③日常生活の様子も知ることができる
- ④組織的にかかわることが出来る

## 2. 個別面談の技法

(1) 個別面談のプロセス (安藤, 2024)

① インテーク面接の段階

② 心理アセスメントと担当者の選定の段階

③ 治療契約の段階

④ 信頼関係形成の段階

⑤ 感情の解放の段階

⑥ 自己の見直しと問題解決の段階

⑦ 終結の段階

(2) 個別面談の場づくり  
(空間、時間、席のとり方など)

①空間

②時間

③座り方

## (3) 個別面談における基本姿勢

カウンセラーの基本的態度の3条件

(ロジャーズ, 1957)

①自己一致

②無条件の肯定的配慮

③共感的理解

## (4) 個別面談における基本技法

① 最小限の励まし

② 繰り返し

③ 明確化

④ 要約

⑤ 感情の反映

⑥ 支持

⑦ 質問

### 3. 児童生徒のSOSをキャッチする

#### (1) SOSをキャッチし、対応するための留意点

①小さな変化に気づく

②小さな変化を共有する

③児童生徒を支える要因を増やす

## (2) 非言語による表現の理解

①視線

②姿勢・動作

③沈黙

④身体症状や問題行動

## 4. 特別な面談（1）：いじめ事案

### （1）いじめ事案における3種類の面談

①事実確認を中心とした聴き取り

②被害者に対するケアを目的とした面談

③加害者に対する指導を目的とした面談

## (2) 事実確認のための聴き取り

①聴き方のポイント

②聴き取りの流れ

③聴き取りの注意事項

## (3) 被害者との面談

① いじめ被害者への禁句

② いじめ被害者との面談の心構えと流れ

## (4) 加害者との面談

① いじめ加害者との面談の心構え

② いじめ加害者との面談のポイント

## 【演習】 聴く体験、聴いてもらう体験

- ・ <注意事項> ここで聴いた話はこの時間だけに留め、話し手の秘密を守る。
- ・ 3人組を作る。じゃんけんでAさん、Bさん、Cさんを決める。
- ・ 時間は10分。終了後にシェアリング5分。

# 【演習】 聴く体験、聴いてもらう体験

<第1ラウンド>……後に役割を交代し、第2ラウンド、第3ラウンドを行う。

- ・ Aさんは話し手、Bさんは聴き手、Cさんは観察者。AさんとBさんは横並びに座り、Cさんは後ろの席に座る。

- ・ Aさん：「教師生活の中で、やりがいを感じていること、うまくいっていること、自分なりに工夫したり取り組んだりしていること」をBさんに話す。

- ・ Bさん：「Aさんを理解しよう」という思いで聴く。2(4)個別面談における基本技法を意識する。

- ・ Cさん：適宜メモを取りながら、Aさんの様子(言葉、表情、態度など)を観察する。聴き手ではないので、身を乗り出さず、少し距離を取って、冷静な観察者に徹する。

# 【演習】 聴く体験、聴いてもらう体験

<シェアリング>

- ・ Aさん：「話し手として感じたこと、気づいたこと」を振り返る。その際、Bさんの聴き方で良かった点があれば、「〇〇という質問で、新しい気づきがあった」などと、具体的に伝える。また、「こうしてくれるともっとよかった」という点があれば、率直に伝える。
- ・ Bさん：「聴き手として感じたこと、気づいたこと」を振り返る。
- ・ Cさん：観察者として、「話し手について感じたこと、気づいたこと」を振り返る。話し手の言葉、表情、態度などについて、気づいたことを具体的に伝える。
- ・ 5分経ったら、「ありがとうございました」とお互いに感謝の言葉を述べ、終了する。

# [引用文献]

安藤嘉奈子（2024）『教育相談の展望とロール・プレイングの体系  
—見守る姿勢・つながる対話・つなげる心理劇のエッセンス』  
福村出版

ロジャーズ（1957）伊東博（訳）（2001）「セラピーによるパーソナリ  
ティ変化の必要にして十分な条件」（カーシェンバウム, H. ヘンダー  
ソン, V. L.（編） 伊東博・村山正治（監訳）『ロジャーズ選集（上）—  
カウンセラーなら一度は読んでおきたい厳選33論文』誠信書房）  
所収

## [推薦図書]

- ・ 安藤嘉奈子（2024）『教育相談の展望とロール・プレイングの体系—見守る姿勢・つながる対話・つなげる心理劇のエッセンス』福村出版
- ・ 片山紀子（編）（2024）『生徒指導の聴き取り方』学事出版